

ICT を利活用した授業や校務の効率化の推進

北海道千歳高等学校 学級数 24 (校長 金山 泰幸)

□ 実践の概要

本校では、Wi-Fi 環境及び ICT 機器の活用に向けた環境の整備を進めるとともに「Google Workspace for Education」及び「Microsoft365」を活用した授業や校務の効率化の推進を行っている。また、生徒の学習ツールとして、生徒及び教職員の連絡ツールの一つ的手段として「Google Classroom」を積極的に活用している。

1 実践の目的

ICT を積極的に活用することにより、教科・学年・分掌・学科等が今まで以上に連携したり、活用状況を共有したりすることで、授業や校務の効率化を図るとともに、校務の業務削減につなげたりすることを目的とした。

2 実践内容

(1) 実施計画

年間を通して、「Google Workspace for Education」及び「Microsoft365」を活用し、授業改善及び校務の効率化を図る。

(2) 取組の具体

授業において、「Google Classroom」や「Google Forms」を活用した小テストやアンケート等を実施したことにより、小テストやアンケート等の作成や回答の集約などの業務に要する時間の削減につながった。さらに、実施の気軽さ、フィードバックの速さから、生徒の主体的な授業参加を促すことができた。

また、外国語の授業における個別最適な学びの実現を図るため、生徒がネイティブの教員とオンライン英会話等の個別指導を受けたり、語学研修中の外国人学生とのオンライン交流を実施したりする取組を行った。



【オンライン英会話の様子】



【個別指導の様子】



【オンライン交流の様子】

(3) 取組後の点検・評価、工夫改善

校務の効率化及び業務削減を図るために、ICT の積極的な活用に取り組んでいる。諸会議等ではペーパーレス化を図るため資料等を「Google Classroom」等にデータを掲載、スケジュールは「Google Calendar」での管理、データ保存は「Google Drive」の活用、教員間の連絡ツールとして「Google Classroom」・「Google Chat」を活用することにより、全教職員に情報が迅速かつ的確に共有され、利便性が大きく向上するなど、校務の効率化や業務削減につながった。



【Google Calendar の活用】

(4) 改善後の取組

教職員一人ひとりが、ICT の利活用する意識を高めるため、継続して校内研修を行う。また、今後も積極的に ICT の活用を促進し、授業改善及び校務の効率化を図る。

3 実践のポイント (○成果と●課題)

- 教科、学年、分掌及び学科等が連携し、ICT の活用状況等の情報共有を促進することで、授業や校務の効率化を図るとともに、業務削減につなげることができた。
- 授業における ICT 活用について、教職員間で活用頻度に差が見られることから、本校の ICT 実践事例について全職員で共有するなど、ICT の効果的な活用についての研修を継続する必要がある。